

令和2年3月24日

環境経済委員会

産業部企業立地推進課

スズキ株式会社等に対する企業立地促進事業費補助金について

令和元年6月28日に申請のあったスズキ株式会社及び株式会社スズキ部品製造に対する企業立地促進事業費補助金の補助対象要件について審査した結果、補助対象要件に適合していることを確認したので、令和2年3月17日付けで以下のとおり交付確定を行いました。

<補助金交付内容>

市補助金交付額(南北ブロック全体) : 3,451,028 千円

○南ブロック

補助金交付額 : 2,526,451 千円

土地取得費 : 980,868 千円

設備投資費 : 1,545,583 千円

○北ブロック

補助金交付額 : 924,577 千円

土地取得費 : 518,000 千円

設備投資費 : 406,577 千円(スズキ(株)及び(株)スズキ部品製造)

完成検査における不適切な事案について

1 国土交通省の勧告文書(令和元年6月7日)

<全数検査>

- ・無資格検査・他人の印鑑使用：平成29年度頃まで
- ・教育不正（教育時間不足、試験未実施、問題・解答漏洩等）：平成30年まで
- ・不合格を合格にする等のずさんな全数検査：平成31年1月まで

<排出ガス・燃費の抜取検査関係>

- ・トレースエラー等の試験条件逸脱：平成30年7月18日まで
- ・測定結果の書き換え：平成30年8月20日まで
- ・測定結果の複製：平成30年5月15日まで

2 浜松市による審査

書類審査のほか、ヒアリング、湖西工場への現地検査等を実施した。

(1) 国土交通省の見解

- ・不適切な完成検査は平成31年1月までに抑止されている。
- ・四半期毎の報告は風化防止策(意識改革の徹底)に重点をおいたもの

(2) 静岡地方裁判所浜松支部による過料対象期間

- ・平成27年1月6日から平成31年1月23日まで
過料対象期間の終了が国土交通省の抑止時期と一致している。

(3) 工場検査

<全数検査>

- ・無資格検査・印鑑使用については、検査員が検査で使用する印鑑を役職者が施錠保管し、始業時に検査員に配布、終業時に検査員から回収することを規程化して厳格に管理することで不適切な行為を抑止した。
- ・教育不正については、教育の内容やレベルを統一するため、座学教室や教育訓練ラインを特定の場所に設置(集約)し、専任講師による教育を継続的に実施、検査員資格については登用試験の実施方法を厳格化した。また、検査員全員に対し講習、試験(学科及び実技)を実施し適格性の再確認を行うなど、完成検査の技術的意義、技量、知識に係る継続的な教育を実施するようにした。
- ・不合格を合格にする全数検査については、検査作業のビデオ保存、監視員の配置、各設備の検査データの最終検査工程への自動送信及び電子的な合格処理の導入し、不適切な行為ができないシステムに改修した。

<排出ガス・燃費の抜取検査関係>

- ・ トレースエラー、環境条件(温度・湿度)の試験条件逸脱については、トレースエラー時間、温度、湿度の最大値、最小値を検査成績書に自動印字するシステムの導入により、不適切な行為を抑止した。
- ・ 測定結果の書き換え及び測定データの複製については、IT部門のサーバーに検査成績書、完成車チェックシート等のスキャンデータを保存することにより、不適切な行為を抑止した。

<審査結果>

不適切な完成検査は平成 31 年 1 月にて抑止済であり、その後、不適切な行為ができないシステムの導入などを進め、令和元年 6 月 28 日時点において不適切な完成検査は完全に抑止されている。

3 その他

オランダ陸運局(RDW)からのディーゼル車の排ガス規制に対する指摘について、以下のとおり確認した。

- ・ 当該車種は、フィアット・クライスラー・オートモービルズ(FCA)がディーゼルエンジンを製造し、排ガス制御ソフトもFCAが作成して、それを100%出資会社ではないハンガリーの子会社が供給を受け、生産をしたものである。
- ・ 当該車種の生産は平成 30 年 6 月に終了している。